

令和6年度 第1回河南町総合教育会議 議事要旨

日 時 令和6年5月28日（火） 午後2時15分～午後3時15分

場 所 河南町役場 4階大会議室北

出席者

町長	森田 昌吾
教育長	中川 修
教育長職務代理者	西川 幹雄
教育委員	藤原 充
教育委員	高井 美恵子
教育委員	杉田 みはる

（町職員出席者）

教・育部 谷部長、内山理事、教育課 藤井課長、こども1ばん課 山田課長
生涯まなぶ課 森課長、学校給食センター 浅井所長

事務局：総合政策部 渡辺部長、秘書企画課 森口課長、高山課長補佐

傍聴者 なし

1 開会

（森口課長）

本日は、お忙しい中、令和6年度第1回河南町総合教育会議に、ご出席いただき誠にありがとうございます。

……会議の公開について確認・・・公開とする

……傍聴者確認・・・なし

それでは、令和6年度第1回河南町総合教育会議を始めさせていただきます。まず初めに、配布資料の確認をさせていただきます。

……配布物確認

それでは、お手元の次第に沿って進行させていただきます。

まず始めに、森田町長からご挨拶申し上げます。

2 町長挨拶

（森田町長）

皆さんこんにちは。本日はお忙しいところ、令和6年度第1回総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日ごろから教育行政に何かとご協力いただきましてありがとうございます。この場をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

今年の3月に選挙があり、町政の2期目が始まりました。教育・子育てにつきましては、令和6年度当初より学校給食の無償化や、医療費の助成といったものは引き続き行うこととしていたところです。次の6月定例会議で行う所信表明では、教育関連としまして学校の体育館の空調整備などを考えておりまして、先の能登半島の地震でも体育館が避難所となっており、地震が発生した時期が冬でしたので寒いということだったかと思いますが、やはり夏になると日本の気候として蒸し暑くなりますので、そういう点では空調が必要であると。特に、学校では今、熱中症が課題となっており、普通教室はエアコンがありますが、体育館で運動するとなるとかなり暑いという状況でして、子どもたちの健康の問題もありますので、頑張って取り組んでまいりたいと考えています。小学校には簡易の置き型エアコンを2基ずつ置いておりますが、これはその中で空気を冷やすため、冷やした空気を出すと同時に熱い空気もその場に出てしまって、温度があまり下がらない、また、湿度管理の面でも、もう少し湿度が下がると運動しやすいという先生のお話もありますので、やはり本格的な空調設備が必要ではないかと思っております。そういう点も含めまして、今後進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

本日は様々な事業について、ご説明をさせていただきますけれども、皆様方からご意見をいただいて、少しでも子育て環境や子どもたちがすくすく育つような環境を整えていければと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。簡単ではありますが開会にあたってのご挨拶といたします。

(森口課長)

ありがとうございました。

これからの議事進行につきまして、河南町総合教育会議運営要綱第5条に基づき、町長に議長を務めて頂きます。森田町長よろしくお願いします。

(森田町長)

それでは、次第に沿って進めさせていただきたいと思います。

議題(1)は「令和6年度における教育関連の主な事業について」でございます。事務局より説明をお願いします。

3 議題

○ 議題(1) 令和6年度における教育関連の主な事業について

(資料1「令和6年度における教育関連の主な事業(当初及び6月補正予定)」により、高山課長補佐から説明。)

<質疑応答>

(森田町長)

ただいま事務局より説明がありました。事業の中身などについて、何かご意見・ご質問等がありましたらお願いします。

(藤原委員)

資料1の「1. 確かな学力の定着と学びの深化」のうち、子育てセンター事業に記載されているあそびの広場について、河南町青少年指導員が主催で実施しているところです。私自身は会長職を務めさせていただいておりますが、じゃあ一体、藤原は子どもたちの育成に対してどんな考え方を持っているのか、というような、私のミッションといいますか、使命についておそらくご理解していただいていると思います。

そこで今日は、私のこのミッションといいますか、目指すべき青少年指導員の活動について、レジュメ1枚にまとめてきましたので、皆さんにその内容をお伝えさせてもらえればと思います。

私はこれまで28年間青少年指導員の活動をしてきて、その28年間の中でこの遊びの広場に掲げる標語として、このレジュメに書いてある「さあ～やるか!」というところにやっと25年目に思い至りました。ですから、この3年間はこの思いに従って、40名の指導員と一緒にやっております。簡単な文章ですけれども、まず「こども達たちは集団のなかで色々な体験や挑戦をすることで成長します!挑戦することを褒めてあげましょう」、次に「大人はこども達の眼がキラキラと輝き、好奇心いっぱいのがらに集中できるような環境づくりの手助けをしてあげましょう」、次に「頂きを極める山登りはとてもつらくて大変です!でも、どんなに時間がかかっても、そこで諦めれば全てが終わります。決して諦めない強い心がキラキラと輝く夢を叶えてくれます。さあ～挑戦」、最後に「私達青少年指導員は人の痛みが解るこども、公共心や道徳心にあふれるこども、そして決して諦めない強い心を持つこどもを育み育てたいと願っています。その為にはリーダーは情熱と使命を全うします」ということで、いつもこの標語を現場に掲げながら、保護者の皆さんにもお話させてもらって、こういう活動の信念に基づいてやっております。

(森田町長)

ありがとうございます。青少年指導員の皆さんには毎年あそびの広場、そしてスポーツ広場も一緒にやっていただいております。子どもたちが来たときに私もちょっと挑戦しま

したが、子どもたちが目をキラキラ輝かせて、特に丸太切りなどはやはり達成感があるので、いかにその達成感を味わうというか、やったー！という気持ちを子どもたちが持つというのはすごく大切だと思います。

あと、スポーツの方でも体育協会と毎年やっておられて、すごくいい活動だなと。子どもたちの希望とかやる気を湧き出させるような形になっていて、学校の中でもそういった形でやっていければと考えておりまして、教育委員会や学校と協力して、やはり学校行きたいと思ってもらえるような環境づくりが必要かなと思います。

その中で、通学時であるとか、学校の中の安全確保といった部分においては、我々の方が施設の整備などを進めていく必要性があります。今、近つ飛鳥小学校もかなん桜小学校もバス通学の人が割合として半分以上になっていて、通学距離は短いですが、バス通学によって歩く力が衰えないようにするためにはどうしたらよいかといったことを学校の先生方には考えていただいておりますし、我々も何らかの手助けができたと思っております。夏には子ども水泳教室を実施しておりまして、結構な数の申込をいただいております。そういったところでもご利用いただければと思います。

防犯カメラも現在 120～130 基程度が町内に設置されています。これは監視を目的としたものではなくて、やはり安全な町を目指すということで、子どもたちの通学の安全確保については、高齢者の方の見守りも多くやっていたいただいているところですが、それにプラスして、機械でそれを補完するということでこれからも進めていきたいと思っております。

あと、自転車のヘルメットについて、自転車通学の中学生は絶対被っているんですが、やはり高校に行くとなかなか被ってもらえないということが実情としてありますので、少しでも補助ができればという趣旨で、ヘルメットの助成を 2,000 円前後で今のところ 2 年間の時限措置で実施しようと考えています。補正予算額としては 20 万円としていますが、申請状況を見て追加もしていきたい。年齢を問わず安全について啓発を行っていこうと考えています。

他に何かございますか。

(杉田委員)

ヘルメットの助成はいい事業だと思います。小学生でもなかなかヘルメットを被っていないということもありますので、ぜひ、年齢問わず皆さんにこの制度があるということが浸透出来たらいいなと思います。

あと、何点か質問があつて、1 点目は今回新規事業ということで伺った森林学習推進事業について、資料だけでは詳細が分からなかったのですが、河南町の土地の利といいますか、それをすごく活かしてもらえるのかとても楽しみに思いました。次に「1. 確かな学

力の定着と学びの深化」の中の心理相談員配置事業について、これは教員の相談にも対応して下さるようなカウンセラーさんなのか、保護者及び保育士等からの子育て相談と書いてあるので、保育士の方は子どものことについては相談できるのかなと思うのですが、教員の方や保育士の方自身のメンタルヘルスについても対応してもらえるようなものなのかお聞きしたい。そして、「2. 豊かな心と健やかな体の育成」における放課後児童健全育成事業について、これは学童保育になるのかなと思うのですが、障がい児の対応をしている放課後等デイサービスは町内にあるのかどうかということで、この間視察にも行かせてもらいましたが、やはり支援学級の数がすごく増えていて、対象になるお子さんも増えている状況でした。放課後児童クラブにおいては、放課後等デイサービスへみなさん行かれる形になっているのかなと思うので、今後、放課後等デイサービスの誘致であったり設置をする計画があるのかどうか、そして現在把握しているものがあるのかどうかも含めて教えていただきたいです。

(森田町長)

杉田委員からの質問について、事務局あるいは教育委員会いかがでしょうか。

(藤井課長)

私の方から、森林学習推進事業の内容についてお話しさせていただきます。小学校5年生を対象としており、学校の教科書で林業を学ぶのが小学校5年生ということもありまして、教科書ベースでは森林についてということで、例えば環境に関することや、災害の防災に関することなどを幅広く教えていますけれども、やはり体験ということが座学よりも非常に学ぶところがあると考えています。そこで、大阪府森林組合の南河内支店へ委託を考えておりまして、実際に山の中に入って森の中の散策や間伐の体験、市場の見学から最終的には製材まで、要は木が生えているところから最後の製材になるところまでを見て、最終的にはその木工というか工作を体験ということで、木を使ったものがこんな製品になるよ、ということまで、一貫して座学ではなくて、体験を通じて教えるという授業になっております。

(山田課長)

続きまして、私の方から心理相談員配置事業についてお話しさせていただきます。この事業について、こども1ばん課所属の心理相談員が4名おりまして、基本3名が週3日ずつ程度出勤して、各こども園へは月1回の巡回訪問を行っています。その際にクラスの先生からお子さんの状況を聞き取り、クラス活動についていくのが大変であるとか、ちょっと

遅れてしまうというような相談を受けて、その子に対してどのようなフォローを入れたらよいか、支援の先生がどう関わっていけばよいか、というようなアドバイスをしてもらっています。それ以外にも、そこから例えば小学校へ行くのに向けて数値的なものを知りたいので発達検査を受けたいということで、検査を行ってそのあとのフィードバックを保護者はもちろん、園などにも結果をお伝えして、学校であればこういった指導に繋がたらよいというような形でさせてもらっている。

先生に対して個別に相談というものはありませんが、お子さんのことについて話をする際に、合わせて先生の悩みといたしますか、お子さんとどう接したらよいかといった話を受けて、こういう風にしてあげたらもっとやりやすくなるんじゃないか、というように先生が悩んでいっぱいいっぱいになっている気持ちを楽にするということは、お子さんと絡めて実施しているところです。

(森田町長)

障がい児への放課後等デイサービスについてはどうか

(山田課長)

放課後等デイサービスの方は、所管が高齢障がい福祉課でして、こちらでは施設等の状況は把握していないのですが、利用にあたっては高齢障がい福祉課で発行される受給者証が必要でして、申請に際してその子がこども1ばん課の心理士による発達検査などを受けておられたら、意見書としてこのお子さんは個別で療育を受けた方がよい、であるとか、こういうところを伸ばすためには必要です、といった旨のものを書かせてもらって、それを以って高齢障がい福祉課で手続きをされる形となります。いろいろな施設が町内にもあるようですが、そちらは把握ができていない状況でして、あとは町外の千早赤阪村や富田林市の方へ行かれていた方も結構多くて、そういった施設の利用には繋がっているところ

(内山理事)

委員からのご質問に対する回答について私から補足させていただきます。心理相談員配置事業の説明において、基本的に教員がカウンセリングを受けるという形はないという説明でしたが、小中学校の教員がすべてそういった機会がないのかというと、決してそういうわけではなくて、町からの持ち出しはありませんが大阪府全体のスクールカウンセラー配置事業というものがあります。すべての中学校に週1回、本町の町立中学校であれば金曜日に配置されておりまして、今年度からはさらに拡充しまして、小学校の方で月に1回

スクールカウンセラーが配置という形になります。昨年度までは中学校区に 1 人でしたので、小学校の教員が悩みがある場合には、中学校に来てもらって、そこで自分自身の悩みとかカウンセリングを受ける機会がありました。そして、今年度からは小学校の方に月一回で勤務場所に来たスクールカウンセラーに悩みを聞いてもらう機会もございます。そのあたりは、必ず週に 1 回は町内にいますので、相談を受ける機会は確保されていることで補足させてもらいます。

(森田町長)

森林学習について、河南町は千早赤阪村と河内長野市と連携しておおさか河内材というものを PR していきまして、町内には少ないんですが林業もあるということで、森林の勉強も含めてやっていくと。今、おおさか河内材を使ったテーブルや本棚を町民ホールの所に毎年少しずつ、去年は本棚、その前の年はテーブルと椅子を置いて、おおさか河内材という焼き印を押してもので PR に努めているところです。今年から森林環境税というものが賦課されて住民税と一緒に皆さんに納めていただくわけですが、その森林環境税を活用して、こういった河内材のものを置いたり、今回の森林学習推進事業といったものをしていこうと思っております。今のところ年間 500 万円弱の金額が国から交付されるので、これ以外にも森林がこの頃整備されていないことによって雨が降った時の流木が多いことから、間伐材の処理に対する補助、あるいは植林などへ補助も含めて、やはり山の保全というものが重要ですということを子どもたちに学んでもらいつつ、災害を未然に防止するというのを町としてやっていこうと考えています。

そして、心理相談員、特に心の安定については子どももそうですが、学校の先生方についても非常に大事な点がありますので、その点もスクールカウンセラーなどを活用してやっていきたいと思っております。あとは、放課後児童健全育成事業ですが、障がいをお持ちの方が放課後をどのような形で過ごすかということは非常に大事だと思いますし、やはり保護者の方の負担軽減にもなりますので、そのあたりを踏まえて対応していきたいと考えております。

(高井委員)

私は教育支援センター事業に取り組んでいただいたこと、不登校児童に対して、それから校内支援センターに指導員を派遣していただいたことがすごく有効であったと思います。やはり、不登校になってしまうかもしれない、全く学校に行けなくなるかもしれない子どもたちを救っていただくような場になったということにすごく意味があると思っています。そして、「4. 地域コミュニティの基盤を支える社会教育及び生涯学び、活躍でき

る環境整備の推進」のところですが、私も河南町のそういう施設を学び等で利用させてもらって、多くの方々に会うことがありますけれども、そこでたくさんサークルができていて、その中で多くの方が活躍されたり、仲間ができてそこからさらにコミュニティができていくということで、河南町のやまなみホールの無料開放もすごくありがたいと思っています。文化協会の方でまたお世話になりますが、やっぱりその会員自体も減ってきてしまっている。そういう文化事業をどんどんしていこうと思ったときに、去年は文化祭に出させていただいたんですけれども、文化祭の中で活躍されている方々が多くおられている中で、その事業が資料には書かれていなかったのも、文化祭はここでの事業には該当しないのかなと思ったところです。あと、文化祭の中で読書感想文の表彰をいつも教育委員会が主催でやっていますが、ああいった町を挙げて頑張っている子どもたちを表彰するという機会を設けてもらっていることもすごくいいなと思っていて、引き続き実施してもらえればと考えています。去年は文化祭の時にパン屋さんが来ていたりとか、もっと人を呼び込むような催しをされるのであれば、文化祭がここの事業として挙がっていないことが残念だなと思ったのですがいかがですか。

(森口課長)

教育支援センター事業についての評価とやまなみホールのお話をいただきまして、ありがとうございます。文化祭の関係ですが、本件につきましては文化協会の主催で事業をお願いしておりまして、町の方からは助成金ということでさせていただいております。ですので、今回この主要事業には載せさせていただいておりませんが、引き続き、文化振興のために文化協会等と連携して事業を展開していきたいと町の方も考えておりますし、教育委員会部局とも一緒にやっていきたいと考えております。また、文化祭での読書感想文コンクール及びこども科学賞展も継続して行っています。

去年にはパン屋さんが来たというところで、これまで文化祭当日に来場いただいた方がお昼になると昼食のために帰らないといけない、せっかく足を運んでいただいても帰ってしまうという状況がありました。そこで、何か町の方でもできることがないかということで、お越しいただいたパン屋さんにつきましては、町の食材を活用して町の魅力発信を共にやっていただける事業者というところで募集しまして、当日には金山古墳パンであったり、河南町産のさつまいもを使ってサンドしたもの、あとは町内の養鶏場の卵を使ったピザトーストといったものを出店してもらったところです。本年度も引き続き、関係機関と協議して、1つの事業についてタッグを組んでいけるよう積極的に取り組んでいきたいと考えております。

(森田町長)

補足ですけれども、文化祭は当然生涯活躍できる場としまして、あとは体育協会で春と秋に開催していただいているスポーツ大会といったスポーツ振興、それに先ほどお話のあった青少年指導員による遊びの広場であったり、スポーツ教室も含めまして、すべて社会体育のほうに入りますので、その辺も進んでやっていこうと思っています。文化祭につきましても、やはり盛り上げていくことが必要かなと。当然ながら、文化に携わっておられる方だけではなく、いろいろな方に触れていただく、目を見ていただくことで、こんなことができるのか、こんなことを私もやってみたい、といった気持ちになっていただくためには、まず来ていただかないといけない。来ていただくためには何をしようかということで、河南町内の商店などに出店してもらうことで、それを目当てに来ていただければということと、今、カナちゃんコインという形で地域通貨事業を行っていますけれども、その地域通貨の浸透といいますか、もっと広めていきたいということもありまして、その加盟店から出店いただいて、町の産品やお店の紹介などをしていただいた。その際の来場者へのインセンティブとしまして、来ていただいたらポイント付与ということで、そのポイントも使って買い物してください、ということで前は実施したところです。特にパン屋さんが盛況で品切れになるくらいまで来場いただきましたが、ああいったことをやって、いろいろな人に来てもらいたいということで思っています。

現在、町の方に近鉄百貨店の社員が一人きていただいております、百貨店とタイアップしながらいろいろな商品開発をしていきたい。いろいろところで連携できるものがないか、町の農作物などを使って何かできないか、といったことをしていく中で、本来は道の駅の拡張部分に来てもらってやっていきたいところですが、まだそこまでは至らないのでまずは物を作ることを先にやっていて、それに賛同してもらったのが泉北堂と呼ばれるパン屋さんになります。町の食材として芋やいちごを使って、いろいろな商品を作っていただいて文化祭などで販売してもらっています。こういったことを考えながら今年は進めていきたいと思っておりますので、またよろしくお願いします。

(西川委員)

僕も河南町に寄せていただいて、ちょうど来た時に小学校が統合する時期でして、かなん桜小学校ができたということで河南町の教育環境が整ったなと実感しています。先日、学校訪問ということで小学校と中学校、あと2つのこども園を見学させていただいて、中村こども園の様子を見たら、すごく環境が整っていて素晴らしいなと思いました。長年、大阪市におりましたので、今でも大阪市の会議に出席するのですが、今一番大阪市が抱えている課題は、幼稚園、保育所、こども園への参加者がどんどん減っているということで

す。そういうことを考えると河南町は素晴らしいな、という風に思います。これだけ教育環境が整い、この会議の前にあった定例会でも KANAN BEAM の話を教育長の方からお伝えいただいて、ある一定の方向性が整ってきたなと思います。これは、あくまでも僕の希望的な観測ですけれども、今度は子どもたちから発信をできるような場を設定できないかなと考えています。小学校の高学年、または中学生くらいのレベルで一度、河南町のことについてどんな町にしたいか、あるいは子どもたちの中で自分達はこんなことをしているんだということを発信する場を何か設定できたらなと。名称は何でもいいですが、例えば、子ども教育フォーラムとか子どもシンポジウムとかいった形でそういう機会を設けて、事前に子どもたちにもしっかり考えてもらって、町長も入っていただいて子どもの意見を聴くような場を持てたらと思います。これだけ教育環境が整い、体育館にも空調が入るといって他自治体ではなかなかできていないこともかなり進んできていますので、さらにグレードアップしてもいいのではないかと。前回の会議の時にもお話ししましたが、成人祭の時に誓いの言葉を言ってくれる子に対していつも感動しています。2, 3 年前に発表してくれた男の子がかなん桜小学校の子で、今現在、筑波大学の大学院に通っているということを偶然に知りまして、僕もいろいろ話をしていの中で、一度子どもたちに先輩として話をしてほしいなということで、そういった話をしてもらおう機会を将来的に作ってもらいたいなと思います。今年は無理でも来年であるとか、当然予算も必要になることですし、それなりに準備も必要になりますので。子どもの声を町政に反映する、あるいはいくつかを取り上げてそれを実現していただいて、子どもたちにもこういう形でみんなの声が町の行政に活かされているよ、ということ言えばなと思います。

(森田町長)

今の子どもたち、中学生や高校生も含めて、様々な意見を伺うということは常々考えているところです。町の方ではまちづくり計画というものがありまして、これが来年度で計画期間が終わりますので、次の新しい計画を考えていかなければいけない時期にきています。その中でアンケートを取るという方法もありますが、いろいろな人から意見を聞くための機会を設けられないかということを担当課に投げかけていまして、そういうこともやっていきたいと思っています。計画においてはいろいろなことをやっておりまして、15 年か 20 年ぐらい前に作った時には、こども議会というものをやりまして、小学校 4 年生でグループを作って意見をまとめて、グループごとにこんな町がいいといった意見がいろいろ出まして、その時に出的意見の中に公園で遊んでいると時間が分からないので時計を設置してほしいというものがあって、1 年で 1 か所の公園に 1 個ずつ設置してきまして、去年に全箇所の公園が終わったということがあります。1 年に 1 か所しかできないけれども、

少しずつ公園に設置しようということで、そういった子どもの意見からやってみようかということで実施したものです。子どもの意見の反映ということで、そういったこともどんどんやっていきたいと思っています。

(藤原委員)

資料の大項目4の中にある文化振興事業において、大阪芸術大学共催ぶくぶくサンデーコンサート開催ということで、これは長年続けておられるものかと思います。今、みなさんのお話を聞きながら思ったことが、世の中には空間プロデューサーという職業がありまして、これはどういった職業かといいますと、新築あるいは既存の建物をいかにプロデュースして集客できるような建物にするかということを仕事にされています。私が思ったのは、やはり教育・文化で一番を目指す河南町ということで、空間プロデューサーの方にもお手伝いいただいて、また、芸大にも協力してもらって役場の建物で「たそがれコンサート」というようなネーミングの仕事が終わった後にちょっと立ち寄れるクラシック演奏をやったらどうかと。そういったことを今ふと思いました。

(森田町長)

今いただいたご提案について、実は以前にランチタイムコンサートという名称でお昼の時間に町民ホールのところでやっていました。ただ、なかなかその時間帯にお客さんが来ないということで下火になって現在はやっておりません。それを復活させるということで考えていけば面白いのではないかと今のお話を聞いて思いました。

(中川教育長)

今日いろいろな話が出た中で、やはり町長部局とも KANAN BEAM のことについては連携しておりまして、この資料に出ている内容すべてがやはり繋がっていきますし、それを今あえて意識しましょうということを我々から発信していきたいと思っています。新規事業もあれば、主な事業として載っていない事業もある中で、すべてが「一人ひとりが輝き、笑顔あふれる人づくり」に繋がっているということを、当たり前のことだけれども1個1個を考える時に常にそのことを関係する人達が意識していく、言葉にしていくことでもっともっと一つのものになっていくのではないかと思いますので、私の思いをこの場で共有させていただきます。

(森田町長)

いろいろとご意見をいただきましてありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

次第の方で、続きとして(2)その他もありますので、この機会に何かございましたらご発言いただければと思います。

○議題(2)「その他」

(一同)

特になし

4 閉会

(森田町長)

ないようですので、これをもちまして、今回の総合教育会議を終了といたします。進行を事務局にお返しします。よろしくお願いします。

(森口課長)

これをもちまして、令和6年度第1回総合教育会議を終了させていただきます。本日の会議の概要につきまして、運営要綱第8条に基づき、後日町ホームページ上で公表させていただきます。

議事録ができましたら、各委員にもご確認いただきたいと思いますので、併せてよろしくお願いします。

本日は、どうもありがとうございました。